

日本で咲かせた乳酸菌の花「乳酸菌生産物質」 「世の中の人を健康にしてくれ」と送り出す

5月1日配信開始の経営者情報配信サイト「賢者レジェンド」で、「乳酸菌生産物質」という花を咲かせた株式会社光英科学研究所の村田公英会長が、自身2度目の経営者インタビューを受けている。

称賛されるようになり、長年の苦勞の末、ようやく花が咲いたという物語だ。日本では長らくの間、乳酸菌の摂取が体に良いという常識が根付いているが、その効用をもたらししているのは実は、乳酸菌そのものではない。乳酸菌が作り出した生産物質なのだという事実。この事実は最近の乳酸菌系機能性表示食品が、乳酸菌の代謝物を基に作られている事からも明らか。

「16種35株の乳酸菌達が共棲培養で仲良く働くことで、健康必需品とも言える『乳酸菌生産物質』が生まれます。こだわりの製法として、CDに録音した今は亡き先代・正垣所長が奏でる尺八の音色を乳酸菌達に聴かせています。すると、菌達の発育が一段と活発になるのです。その明らかでないのは、正に菌達が生き物であることを示しています。私は、それら乳酸菌の花とも言える『乳酸菌生産物質』に愛情を込めて、『世の中の人を健康にしてくれ』と呼び掛け、真心こめて、村田会長は番組内で

感慨深く語っている。
村田会長は現在82歳。76歳の時の第1回の「賢者グローバル」と併せて視聴すれば、村田会長の「乳酸菌生産物質」に託す思いが如実に伝わってくる。

「腸内細菌学雑誌」22年10月号に査読付き論文として掲載されている。このエビデンスで、健康に敏感な消費者の多くに「乳酸菌の代謝物こそが大事」ということが、より確実に伝わっていくことだろう。(木)

会社の実力



村田 公英 会長

来ているが、これらを総括する存在になり得る「乳酸菌生産物質」が海外からも

その契機は1944年。大谷光瑞農芸化学研究所の正垣一義所長により、大正時代から続く乳酸菌飲料の製造方法を、生きた菌から菌の分泌物に「大転換」する研究が行われ、16種の乳酸菌の共棲培養方式を完成したことに端を発する。

この研究を69年より引き

ついで同社の村田会長は、その16種の菌株を特定。16種16株ではなく16種35株からなることを突き止める。

「ヒト試験で人体への摂取効果を確認」
そして今、16種35株の乳酸菌群が生み出す「乳酸菌生産物質」は、数多くの健康食品や一般食品の原料として採用され、世界の人々の健康増進に貢献している。

【会社データ(問い合わせ先)】
本社 埼玉県東和光市新倉5-1-25
☎048-467-13345
創業 1969年4月
資本金 1100万円
事業内容 乳酸菌生産物質の製造・販売、研究・開発
<https://www.koei-science.com>



日本で咲かせた乳酸菌の花
— 乳酸菌生産物質に人生を賭けたレジェンド —
「賢者レジェンド」
(https://www.youtube.com/watch?v=zVJA2Ag_KWK)



「賢者グローバル」
(<https://www.kenja.tv/president/detkvw3zb.html>)